

中学1年生は、3年間の基盤づくり。太く大きな根っこを育てよう。

根っこ

森町立旭が丘中学校第1学年
学年通信 第10号
令和2年 7月6日(月)
文責 間瀬 彰浩

本日、1学期期末テストの成績カードを生徒に渡しました。色々な思いをもっていると思いますが、今回の学年通信では、各教科担任のコメントと度数分布表を掲載します。テスト反省に生かし、今後の学習をさらに充実して行ってほしいと思います。

	テストの傾向とアドバイス
国語	全体的に良くできていたと思います。しかし、高得点を目指すためには、ミスを減らす工夫が必要です。内容を理解することができていたにも関わらず、答え方を間違えて点数を落としている人がかなり多くいました。また、高得点を取っている人は漢字と文法の問題で満点を取っていました。日頃から漢字の書き取りを丁寧にやって覚えていきましょう。作文問題では、話し言葉を使って減点となった人が目立ちました。文章を書くときに書き言葉を使うことを意識しましょう。
社会	今回の期末テストは地理の内容から出題しました。「世界各地の人々の生活」では、各地の気候、生活の工夫と変化について、基本的な内容(例:気候帯名、地名)はできていました。説明を求める問い(例:アンデス山脈での土地利用)では、説明が不足している生徒が見られました。授業や家庭学習を通して、表現する力・説明する力をさらに伸ばしていきましょう。
数学	数学の教科の特性として、得意な人と不得意な人との差がはっきりしやすいということがあります。今回のテストもそうでした。しかし、数学は実力を積み重ねていく教科のため、苦手なまま放っておくと、大変なことになると思います。小学校から算数が苦手だった人は分数や小数など、自分が苦手な分野をしっかりと復習し直す必要があります。中1の今の時期の内容をしっかりと身に付け、確実な力を付けていきましょう。
理科	1問1答形式の問題は、比較的よくできていたと思います。分類の基準を示したり、文章で説明したりする問題の正答率が低いと感じました。文章で答える時には、「主語」「述語」をはっきりさせ、「○○が△△する」などの分かりやすい文を書けるようにする必要があります。ワークをやった後の答え合わせの時に、○×の判断をするだけでなく、「どんな文章で書かれているか」「自分の書いた文と例文でどこが違うか」を意識していけると書く力が高まっていきます。相手に分かりやすく伝えることができるように、練習を繰り返してほしいと思います。
英語	全体的によくできていたと思います。放送問題では、ほとんどの問題に正解することができていました。その反面、長文を読み答える問題では、主語が抜けてしまい、不正解となるが多かったです。知識を問う問題では、数字が書けていなかったり、英単語が正確に書けていなかったりする人が多いと感じました。毎日のマラソンノートをただ書くのではなく、1つでも多くの英単語が書けるように意識をもつことが大切だと思います。最後に表現の問題ですが、Are you~? や Do you~? に対して正しく答えることができていましたが、カンマやピリオドなどの符号忘れによって減点となった人も多く、これから符号を付けることに意識をもって取り組みましょう。

